

中小企業景気動向調査

業況は横ばい、来期はやや改善の見通し

景況天気図

| | 前期 2021.4~6 | 今期 2021.7~9 | 見通し 2021.10~12 |
|-------|----------------|----------------|-------------------|
| 全業種 | | | |
| 製造業 | | | |
| 建設業 | | | |
| 卸売業 | | | |
| 小売業 | | | |
| 不動産業 | | | |
| サービス業 | | | |

← 悪い → 良い
 (天気図は、調査結果から総合的に判断し作成した。)

概況

景気は感染者急増に加え大雨、長雨の影響もあり低迷が続きました。今後はワクチン接種が進むことから緩やかな回復が見込まれています。但し、変異株等による病床逼迫等の動向次第では回復が遅れる懸念もあり引き続き注意が必要です。

今期（7月～9月）の実績

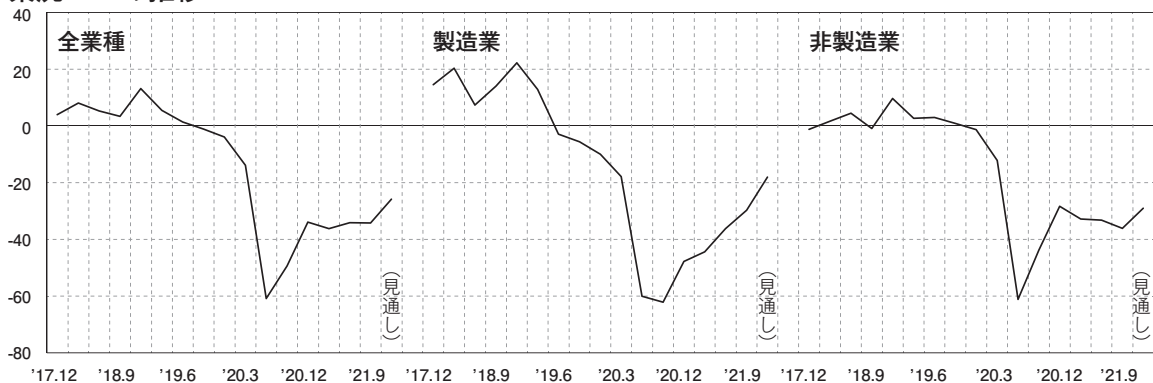
業況D Iは▲34.2で横ばいでした。前期比の売上額D Iは▲17.7でやや改善、収益D Iは▲25.3でほぼ横ばいでした。前年同期比の売上額D Iは▲19.0、収益D Iは▲22.0でともに悪化しました。資金繰りD Iは▲7.5で悪化、人手過不足D Iは▲23.0で「不足」超となりました。設備投資実施割合は35.9%で、前期比▲0.7ポイント下降しました。

価格は仕入価格D Iが46.6、販売価格D Iが1.9でともにやや上昇しました。

来期（10月～12月）の見通し

業況D Iは▲25.8でやや改善、売上額D Iは▲3.4、収益D Iは▲10.0でともに改善の見通しです。設備投資実施割合は33.5%で下降の見通し、価格は仕入価格D Iが40.4でやや低下、販売価格D Iが5.4でやや上昇の見通しです。

業況D Iの推移



調査要領

- ・調査時点 2021年9月上旬
 - ・調査依頼先 当庫取引先
 - ・調査方法 郵送調査
 - ・調査対象期間 2021年7月～9月（今期）
（前期：2021年4月～6月）
（来期：2021年10月～12月）
 - ・分析方法 「増加」（上昇）したとする企業の占める構成比と、「減少」（下降）したとする企業の構成比との差（D I）により分析を行った。
- ※ D I : Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

調査依頼先数と回答状況

| | 依頼先数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|-------|-----|-------|
| 製造業 | 403 | 165 | 40.9% |
| 建設業 | 327 | 104 | 31.8% |
| 卸売業 | 205 | 83 | 40.5% |
| 小売業 | 168 | 50 | 29.8% |
| 不動産業 | 116 | 42 | 36.2% |
| サービス業 | 347 | 114 | 32.9% |
| 合計 | 1,566 | 558 | 35.6% |